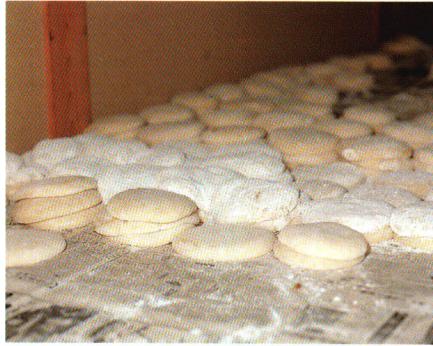
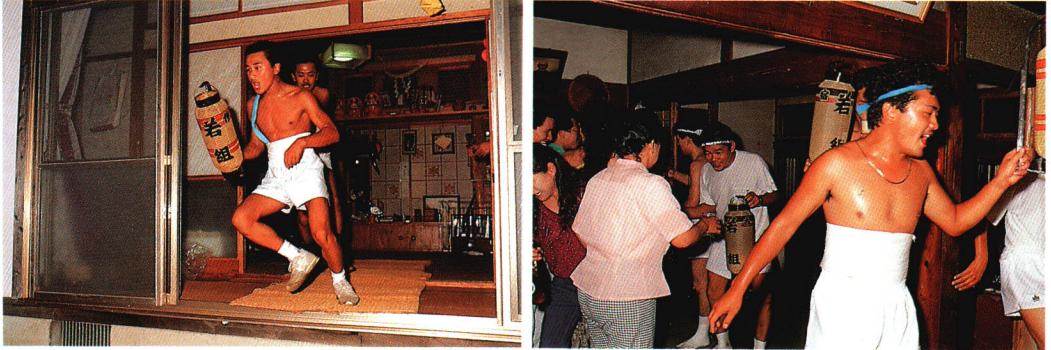


塙町の祭

伊香の「おすわ(諏訪)さまの祭り」



期日 夏の土用丑の日の前夜より、当日の
夜半まで

行事 前夜祭、氏子の當屋（當前とも）宅
にて（現公民館）若者が參集し、神殿
より御神体をお仮屋へ移し、お籠行事
があり、夜半還御の前夜祭が行われる。

当日の未明、お籠り明けに街路の流
れに、潔斎行事があり、献饌のための
餅搗きが行われる。

それには、保管されていた豎杵、棒
状の千本杵といわれるものをもって巨
大な鏡餅をつき、奉獻する。

外にこの杵数本に餅をからませ、高
くかかげて部落内を通りねり歩き乍ら、
住民へちぎり取らせる。病難除けの縁
起行事がある。（町内田代にも行われた）

中には、往時、山車（用材は今日残
され保管中）、屋台等の神幸行事があつ
たとのこと。

夕刻になり、神燈を点して、お仮屋
前の神事があり、先達・御祓・御神
鏡・雌雄の獅子頭の順に、若者が奉持
して各戸を巡り歩くのであるが、各家
へは、土足のまま駆け抜ける奇祭とな
つており、各戸でもそのことを祭礼事
として受け入れ、夜半に終了する。